

電力需給に関する検討会合（第11回）

概要

- 日時 : 平成25年11月1日（金） 8:05～ 8:15
- 場所 : 官邸4階大会議室
- 出席者 : 菅 内閣官房長官、茂木 経済産業大臣兼内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償支援機構）、麻生 副総理兼財務大臣兼内閣府特命担当大臣（金融）、谷垣 法務大臣、甘利 内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、石原 環境大臣兼内閣府特命担当大臣（原子力防災）、古屋 国家公安委員会委員長兼内閣府特命担当大臣（防災）、岸田 外務大臣、下村 文部科学大臣、田村 厚生労働大臣、太田 国土交通大臣、根本復興大臣、新藤 総務大臣兼内閣府特命担当大臣（地方分権改革）、小野寺 防衛大臣、林 農林水産大臣、山本 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、科学技術政策、宇宙政策）、稲田 内閣府特命担当大臣（規制改革）、森 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全、少子化対策、男女共同参画）、加藤 内閣官房副長官、世耕 内閣官房副長官、杉田 内閣官房副長官、古谷 内閣官房副長官補

（茂木 経済産業大臣）

- 定刻となりましたので、ただ今より、電力需給に関する検討会合を開会いたします。
- はじめに座長の菅内閣官房長官からご挨拶いただきたいと思います。

（菅 内閣官房長官）

- これから冬場に向けて、電力の需要が再び高まることから、今年の冬も引き続き、政府として電力需給の安定に万全を期していかなければなりません。
- 10月23日に電力需給検証小委員会の報告書が取りまとめられたことを受けて、本日は、茂木経済産業大臣から、本報告を踏まえた2013年度冬季の電力需給対策についてご説明いただき、ご議論をいただきたいと思います。
- 政府として、電力需給対策に遺漏なきを期すため、皆様のご協力をお願いいたします。

（茂木 経済産業大臣）

- ありがとうございます。
- それでは、2013年度冬季の電力需給対策について説明をさせていただきます。
- この冬の見通しについて、専門家からなる電力需給検証小委員会において検証を行った結果、1ページのとおり、厳冬となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを織り込んだ上で、この冬については、いずれの電力管内でも電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しであります。
- 北海道も予備率7.2%を確保できる見通しではありますが、本州からの電力融通に制約、北本連系線は最大60万kWの融通まででありまして、こういった制約があるほか、寒冷地であり、万一の場合、生命に関わるおそれがあることなどから、昨年と同様に、特段の対応を行うことが必要であります。
- 以上を踏まえ、この冬の電力需給対策は2ページのとおりとしたいと考えております。
- まず、沖縄を除く全国で、「数値目標を伴わない」一般的な節電を要請させていただきます。
- 一方、北海道については、先ほど申し上げた固有の事情を踏まえ、2010年度比で6%以上の「数値目標付きの節電」を要請いたします。
- ちなみに、昨年度は7%以上という「数値目標」でありました。
- これにより、年間最大級の電源脱落が仮に発生した場合でも、電力の安定供給に最低限必要な予備率3%は確保できます。
- さらに、過去最大級又はそれを上回る電源脱落にも備え、2ページの下段にあるように、「計画停電回避緊急調整プログラム」、「自家発電設備の導入支援」及び「緊急時ネガワット入札」、これは節電の入札になりますが、これらの多重の対策を講じて万全を期してまいりたいと考えております。
- 以上が2013年度冬季の電力需給対策であります。各省においては、引き続き、電力需給の安定のために、ご協力をお願い申し上げます。
- 説明については、以上であります。ただいまの報告について、ご質問、ご意見などございましたらお願いいたします。
- 特にございませんか。

- それでは、ただいまご議論いただいた「2013年度冬季の電力需給対策について」を、電力需給に関する検討会合として決定させていただくことでよろしいでしょうか。
- ご賛同いただきましたので、「2013年度冬季の電力需給対策について」を決定させていただきます。
- 最後に、菅内閣官房長官からまとめてご発言いただきたいと思います。
- プレスが入室しますので、少しお待ちください。

(菅 内閣官房長官)

- 本日は、2013年度冬季の電力需給見通しについての認識を閣僚間で共有し、この見通しを踏まえ、本検討会合において、「2013年度冬季の電力需給対策」を決定いたしました。
- 具体的には、沖縄電力管内を除く全国について、現在定着している節電の取組が無理のない形で確実に行われるよう、「数値目標を伴わない」一般的な節電を要請いたします。
- また、北海道電力管内については、寒冷地であり、電力需給のひっ迫が国民の生命、安全を脅かす可能性があることから、6%以上の「数値目標付きの節電」を要請いたします。
- 国民の皆様、特に北海道の皆様には、現下の電力事情に鑑み、節電へのご協力をお願いいたします。
- また、関係省庁においても自ら節電に率先して取り組むようご協力をお願いいたします。

(茂木 経済産業大臣)

- ありがとうございます。
- それでは、メディアの皆さんはここでご退室いただきたいと思います。
- なお、今回の配布資料はすべて公開とさせていただきます。
- 会議の内容については、会議終了後に加藤内閣官房副長官記者会見、私の閣議後記者会見で概要を説明することとさせていただきます。
- それでは、これもちまして、電力需給に関する検討会合を終了させていただきます。
- 本日はどうもありがとうございました。

以上